

インテック増収・増益 — 第2四半期決算 —

ITHD第2四半期決算

— 特別損失により最終損失

ITホールディングス(以下、ITHD)は、11月2日に平成24年3月期(第2四半期累計)の連結決算を発表しました。売上高は154.6億円(前年同期比0.4%増)、営業利益は46億円(同0.3%増)、経常利益は46億円(同1.7%増)となりました。受注が堅調に推移したことや徹底したコスト削減などによって期初計画を達成しました。その一方、グループ会社9社の拠点移転・集約による特別損失約18億円、TISにおける全社構造改革に伴う特別転身支援プログラムの実施に伴い約44億円の特別損失を計上したことで、当四半期純損失は14億円となりました。

なお、ITHDは第3四半期以降も堅調な受注が続くと見込み、通期の業績予想を修正しました。

ITHD、西新宿に新拠点

ITHDグループの東京地区では、自社ビルを拠点としているインテックのほかは、概ね賃貸オフィスを利用しています。今回の集約は、賃貸オフィスを利用している各社を、西新宿のビルに集約す

るもので、年間約9億円のコスト削減を見込んでいます。

新拠点は、次のとおりで、2011年12月から順次移転を行います。

新拠点住所…東京都新宿区西新宿8-17-1
ビル名…住友不動産新宿グランドタワー 14階から26階

インテック堅調に推移

インテック(連結ベース)においては、売上高は49.7億円(前年同期比1.8%増)、営業利益は21億円(同13.9%増)の増収・増益となりました。売上高については、金融機関からのシステム開発の需要増加や情報系システムの販売拡大、産業系顧客の大型基幹システム開発や更改などにより

増収となりました。利益につきましては、コスト削減、内製化の一層の推進、要員稼働率の向上により、営業利益、経常利益は増益となりました。当四半期純利益は、子会社合併による税効果

平成24年3月期第2四半期累計(平成23年4月1日から平成23年9月30日)業績

	ITHD連結	インテック(連結)
売上高(百万円)	154,682(0.4%)	49,751(1.8%)
営業利益(百万円)	4,683(0.3%)	2,182(13.9%)
経常利益(百万円)	4,679(△1.7%)	1,900(8.1%)
当期純利益(百万円)	△1,469(-)	1,471(31.6%)

の影響が加わり、14億円(前年同期比31.6%増)となりました。

先行投資の商品、サービスを拡販

インテックは、前期からの先行投資であるデータセンターやクラウド関係の新製品、新サービスの拡販を図ります。データセンターでは、北陸の地の利を最大限に活用し、災害対策拠点としてお客さまの期待に添えてまいります。クラウド、スマートフォン関係の商品、サービスもデータセンターと組み合わせることで総合的なサービスとして紹介してまいります。

なお、インテック(連結ベース)の平成24年3月期につきましては、期初計画どおり増収・増益を見込んでおります。

引き続き営業活動の絶対量を増やし、受注・売上を拡大させるとともに、生産性の向上と収益管理を徹底することにより、一層の業績向上を目指します。

平成24年3月期(平成23年4月1日から平成24年3月31日)予想

	ITHD連結	インテック(連結)
売上高(百万円)	325,000	106,000
営業利益(百万円)	14,000	5,200
経常利益(百万円)	13,500	4,400
当期純利益(百万円)	2,000	2,200

※ITHD連結は、期初計画から修正しています。